

トークコンサート

大谷康子の 音楽の贈り物

テレビ番組「題名のない音楽会」でもお馴染みのヴァイオリニスト大谷康子が3回シリーズでお贈りするトーク&コンサート。ソリスト、東京交響楽団ソロ・コンサートマスター、東京音楽大学教授の顔を持つ大谷康子が、音楽にまつわる“楽しいお話し”“深いお話し”とともにヴァイオリンの名曲の数々を演奏します。各回のゲスト共に趣向を凝らした試みもいっぱい。どうぞ、お楽しみに！

第1回 “春の夢”コンサート

ピアノ / 山崎早登美

日時：5月11日（水）19:00 開演（18:30 開場）

会場：新百合21ホール（小田急線新百合ヶ丘駅前）

第2回 “ハープとの饗宴”コンサート

ハープ / 篠崎史子

日時：6月8日（水）19:00 開演（18:30 開場）

会場：多摩市民館ホール（小田急線向ヶ丘遊園駅徒歩5分）

第3回 “弦楽の魅力”コンサート

第2ヴァイオリン / 木村正貴

ヴィオラ / 青木篤子 チェロ / 西谷牧人

日時：7月20日（水）19:00 開演（18:30 開場）

会場：新百合21ホール（小田急線新百合ヶ丘駅前）



■チケット

各回 2,000円 全席自由 [定員 各回 300名]

3回通し券 5,000円

■チケットのお取扱い

ラゾーナ川崎プラザソル tel 044-874-8501

NPO 法人かわさき市民アカデミー tel 044-733-5590

■お問い合わせ

NPO 法人かわさき市民アカデミー

211-0064 川崎市中原区今井南町 514-1 川崎市生涯学習プラザ 3F

tel 044-733-5590 <http://npoacademy.jp/>

■主催：NPO 法人かわさき市民アカデミー

■後援：(財)生涯学習財団 / (財)川崎市文化財団
川崎市教育委員会 / 「音楽のまち・かわさき」推進協議会
(公財)かわさき市民活動センター / 神奈川新聞社



Photo: 尾形正茂

大谷康子

人気・実力ともに日本を代表するヴァイオリニスト。東京芸術大学、同大学院博士課程を修了。全日本学生音楽コンクール全国第1位。シェリング来日記念コンクール第2位。1988年、日本の女性ヴァイオリニストで初めて一夜に3曲（メンデルスゾーン、ストラヴィンスキー、ラロ）のヴァイオリン協奏曲を演奏し、大きな話題となる。1990年には、ヨーロッパ4都市（ローマ、ウィーン、ベルリン、ケルン）でリサイタルを開き、好評を得る。日本各地でもリサイタルを開催。また、スロヴァキアフィル、東響、新日本フィル、東京シティフィル、東京フィル、日本フィル、札幌交響楽団、名古屋フィル、大阪フィル、関西フィル、九州交響楽団などのソリストを務めるほか、海外へ招かれての演奏、テレビ「題名のない音楽会」（300回以上最多出演）をはじめ多岐にわたる分野のメディアへの出演、さらに室内楽、現代音楽への分野にも力をいれている。コンサートの合間には病院でのボランティア演奏を精力的に行うなど、その意欲的な活動は多くのファンから支持を得ている。2008年にはサントリーホール大ホールにて使用楽器300年、サラサーテ没後100年を記念してリサイタルを開催し、チケットは完売、満員の聴衆を魅了した。2005年には弦楽四重奏団「クワトロ・ピアチェーリ」を結成。その質の高い演奏は2010年度「芸術祭大賞」受賞。CDはソニー等からロングセラー『椿姫ファンタジー』『夢のあとに』、無伴奏作品を集めた『深紅のシャコンヌ』、『メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲/ラロ：スペイン交響曲』など多数。

東京交響楽団ソロ・コンサートマスター。東京音楽大学教授。使用楽器は1708年製ピエトロ・ガールネリ。オフィシャルウェブサイト <http://www.yasukohtani.com/>

6月 “ハープとの饗宴” コンサート



photo: 満田 聡

ハープ
篠崎史子

桐朋学園大学を首席で卒業。J. モルナール氏に師事。後、アメリカに留学し、M. グランジャー、M. ディリングの各氏に師事。1970年イスラエル国際ハープ・コンクール3位入賞。1972年「篠崎史子ハープの個展I」を開催。1973年小澤征爾指揮のベルリン・フィル定期演奏会に出演の他、ヨーロッパの各フェスティバルに出演。1974年文化庁在外研修員として西ベルリン、パリに留学。また、サウンド・スペース・アークのメンバーとして1978年以降アメリカ、ヨーロッパ等の主要音楽祭に参加し、83年メンバーとして中島健蔵音楽賞を受賞。その後も、ソリストとしてニューヨーク、アスペン等で演奏するほか、イスラエル国際ハープ・コンクール、ジュネー国際コンクールの審査委員を務める。2001年「篠崎史子ハープの個展VIII」を開催し、平成13年度芸術祭優秀賞、第20回中島健蔵音楽賞、第1回佐治敬三賞を受賞。2007年には計3夜にわたる「篠崎史子ハープの個展X」を開催、第17回朝日現代音楽賞を受賞した。これまでに国内外の主要オーケストラと共演する他、ランパル、ニコレ、ゴールウェイ、ガロワらとも共演。CDは主要レーベルより十数枚発売中。

桐朋学園大学を首席で卒業。J. モルナール氏に師事。後、アメリカに留学し、M. グランジャー、M. ディリングの各氏に師事。1970年イスラエル国際ハープ・コンクール3位入賞。1972年「篠崎史子ハープの個展I」を開催。1973年小澤征爾指揮のベルリン・フィル定期演奏会に出演の他、ヨーロッパの各フェスティバルに出演。1974年文化庁在外研修員として西ベルリン、パリに留学。また、サウンド・スペース・アークのメンバーとして1978年以降アメリカ、ヨーロッパ等の主要音楽祭に参加し、83年メンバーとして中島健蔵音楽賞を受賞。その後も、ソリストとしてニューヨーク、アスペン等で演奏するほか、イスラエル国際ハープ・コンクール、ジュネー国際コンクールの審査委員を務める。2001年「篠崎史子ハープの個展VIII」を開催し、平成13年度芸術祭優秀賞、第20回中島健蔵音楽賞、第1回佐治敬三賞を受賞。2007年には計3夜にわたる「篠崎史子ハープの個展X」を開催、第17回朝日現代音楽賞を受賞した。これまでに国内外の主要オーケストラと共演する他、ランパル、ニコレ、ゴールウェイ、ガロワらとも共演。CDは主要レーベルより十数枚発売中。

5月 “春の夢” コンサート



ピアニスト
山崎早登美

東京芸術大学附属音楽高等学校、同大学を経て同大学院修了。第41回全日本学生音楽コンクール東京大会中学校の部第2位。第9回宝塚ベガ音楽コンクールピアノ部門第3位。1997年東京文化会館新進音楽家デビューコンサート出演。第15回大曲新人音楽祭グランプリ受賞。第67回日本音楽コンクール（毎日新聞・NHK共催）ピアノ部門入選。第9回日本演奏家コンクールにて、伴奏者賞を受賞。また、これまでに東京交響楽団、東京シティ・フィルと協演。1999年～2000年、東京芸術大学ピアノ科ティーチング・アシスタントも務めた。2007年まで、浜松国際管楽器アカデミー公式伴奏者を努めたほか、各種音楽祭や講習会の伴奏、国内外のアーティストとの共演やリサイタル、室内楽のコンサート、新曲の初演、放送への録音など、多岐にわたり活動している。現在、東京音楽大学弦楽科伴奏助手。

7月 “弦楽の魅力” コンサート

大谷康子弦楽四重奏団

第1ヴァイオリン：大谷康子



第2ヴァイオリン
木村正貴

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京芸術大学を卒業。2000年東京交響楽団に入団。2003年第15回アフィニス夏の音楽祭に参加（マスタークラスをW. フォルヒャート、S. ヴァグナー両氏に師事）ヴァイオリンを原田幸一郎、大谷康子、岡山潔の各氏に師事。現在、リサイタルやミニコンサートの開催等、関東や九州を中心にオーケストラ以外にもソロや室内楽で活動中。



ヴィオラ
青木篤子

6才よりヴァイオリンを始める。桐朋学園大学音楽学部卒業後、ヴィオラに転科。これまでに第15回宝塚ベガ音楽コンクール、第2回名古屋国際音楽コンクール、第2回東京音楽コンクールで優勝。2008年東京交響楽団首席ヴィオラ奏者に就任。ソリストとしてこれまでに関西フィルハーモニー管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団と共演。ヴェーラ弦楽四重奏団、レミュジヤンドゥットウキョウのメンバーとして、室内楽の分野にも力を注いでいる。



チェロ
西谷牧人

奈良県出身。5歳からスズキメソッドでチェロを始め、奈良高校、東京芸術大学、大学院修了。インディアナ大学、ヨーヨー・マのマスタークラス受講。これまで多くのリサイタル、演奏活動を経て現在、東京交響楽団の首席チェロ奏者を務めるかたわら東京芸術大学の非常勤講師として後輩の指導にあたっている。

